

■調査項目

やぶパートナーズについて

・調査期日

平成28年2月18日(木) 午前10時～午前11時30分

・調査内容

養父市は、「中山間農業改革特区」の位置づけで政府の国家戦略特区の指定を受けている。広瀬市長は、耕作放棄地の拡大を防ぎ農業再生の取り組みを行う為に、経営コンサルタントとして、市内の道の駅の運営アドバイザーをしていた広島出身の三野昌二氏を副市長に登用した。

我々の視察に対して、副市長自らが対応してくださるということで「わざわざ直々とは何で？」と思っていたが、広島出身と聞いていたが、まさか広育ちとは、しかも呉商の出身ということで、大いに驚いたことでした。

副市長は、ハウステンボスの再生事業に携わったりと、幅広い人脈と経験の持ち主で、加えて発想力の豊かな方で、次々とアイデアが浮かび実行しておられることに、いたく感心しました。

取り組んでいる事業としては、まず「地域に眠る宝」の掘り起こしを行うための株式会社やぶパートナーズを設立し、その代表者に就任している。

掘り起こした案件は、朝倉山椒を海外特にヨーロッパの料理人達から「魔法のスパイス」と認知せることに成功し、清らかな地下水で育てた「別宮棚田米」をブランド化。特産の大豆「八鹿浅黄(ようかあさぎ)」を使ったマヨネーズを開発。三井物産グループと共同で「食用ホオズキ」の栽培。養父の養蚕事業の復活(黄金の繭)。日本海の魚介類を使ったコラボ商品の開発。地域に眠るの掘り起こしを積極的に行っている。

一方、廃校になった学校の再利用を行い

イ. レタス工場

ロ. 航測会社

ハ. 醸造所

ニ. 不登校児専門学校

等の企業、学校を呼び込み雇用の促進を図っている。いずれにしても、三野副市長の溢れんばかりのアイデアと行動力で養父市の知名度アップと活力を生みだしている。

又、呉市の特産品を使った商品開発もやりたい。

そして、グリーンピアは花で売り出したら良いのにと言われた言葉が印象として残った。

いずれにしても、呉に戻って、街づくりの一翼を担ってもらえるのではないかと期待を込めました。

素敵なお人材に出合えて良き視察でした。